

神戸新聞読者クラブ

奥さま手帳

毎月、兵庫を再発見。

2025年
2月号
NO.619

のんびり。
日帰り温泉で、

鉄分不足にご注意!!

城崎温泉

川辺の柳並
木や太鼓橋、古き良き温泉街の風情を味わいながら6つの共同浴場を訪ねる(外湯めぐり)が定番の城崎温泉。「一の湯」の洞窟風呂、「鴻の湯」の岩づくりの露天風呂、「柳湯」のヒノキ風呂など異なる趣向の温泉を、1日何度も楽しむとなる。その一つ、京都御所のように重厚な外観の「御所の湯」は、外湯では初となる全面露天風呂へ2020年にリニューアル。四季の但馬の植栽を眺められる(庭園風呂)となり、よりのんびりと。



もう入った? 人気の外湯が開放的にリニューアル。

御所の湯 ごしょゆ

6つの外湯がそれぞれ御利益を持ち、「良縁成就」「美人の湯」としても人気が高い御所の湯。1267(文永4)年、後堀河天皇の姉・安嘉門院が入湯されたことから命名され、2005年に移転新築。5年前のリニューアルでは老朽化した屋根を取り払い、内湯の大浴場も露天風呂へと一新。裏山の自然を肌で感じられるより開放感ある浴場に。

▶豊岡市城崎町湯島448 ☎0796-32-2230 午前7時~午後11時(午後10時40分最終受付) 木曜休(祝日の場合営業) 入浴料/大人800円、1歳~小学生400円 ②なし

道案内/電車→JR山陰本線城崎温泉駅から北西へ徒歩約10分 車→北近畿豊岡自動車道但馬空港ICから北へ約30分



日本一伸びたが似合う温泉街」とも。外湯めぐりは1日入り放題の券(ゆめば)が便利。大人1,500円、小学生750円。各外湯の窓口で販売。街が一層にぎわう11~3月のカニシーズンにも、まだ間に合う!



竹中肉店 たけなかにくてん

有馬温泉の旅館やホテルへの卸売も行う老舗精肉店。コロッケは1日1,000個売れる日も珍しくない温泉街の定番グルメ。黒毛和牛のミニチはふんだんに使い、ジャガイモの甘さを引き立てた秘伝のレシピはソースなしでもしっかりした味付け。すぐほおばれるよう紙に包んでくれるが、店内席でも食べられ、まとめ買いしてお土産にも。

▶神戸市北区有馬町813 ☎078-904-0298 午前9時30分~午後5時 水曜休 ②なし

創業80年、国産黒毛和牛・神戸牛を扱う老舗。その代名詞といえるコロッケ170円。肉汁たっぷりのミニチカツは330円。



アリマ ジェラテリア スタジオーネ

実家の酒販店を営みながら、イタリアンジェラートの世界に打ち込む片山圭介さんのお店が開業10年に。六甲山麓の酪農家から届くコク深い牛乳、旬の野菜、果実をふんだんに使う手づくりジェラートは、もぎたてを食べるような新鮮な味、なめらかな舌触りに驚かされる。2019年にはジェラート日本一を決める大会で優勝した腕前を楽しみに。

▶神戸市北区有馬町1163 ☎078-907-5468 午前10時~午後5時 火・水曜休(祝日の場合営業) ②なし



地サイダーを使う(ありまサイダー)、コンテストで優勝に輝いた(塩マスカルポーネ きんかん香る甘酒仕立て)など本日のフレーバーは約10種。シングル500円、ダブル580円、トリプル630円。

道案内/電車→地下鉄北神線谷上駅から神戸電鉄に乗り換えて、有馬口駅経由で有馬温泉駅下車→車→阪急高速北神線有馬口出口から北へ約5分



館内の喫茶ではソフトクリームで湯上がりの一服。ありまサイダー入りサイダーソフト450円。

「近年は街にランチやカフェ、エスイーツの店がぐつぐつ増え、気軽に温泉と食べ歩きを楽しむ方が多くなりました」と日帰り温泉「太閤の湯」を営む「有馬ビューホテル」の西村裕章さん。昔懐かしい情緒と湯けむりがただよう坂道をゆるりと歩いてみたい。



写真下は銀泉くつろぎ湯。[黄金の蒸し風呂]の向こうは金泉に銀泉をブレンドした[天下の湯]。成分が濃厚な金泉は湯あたりが心配だが天下の湯は「長く入れると好評だ。写真上、露天風呂では金泉かけ流しの[太閤岩風呂]、[瓢箪露天風呂]、釜風呂やハーブ風呂を。



食事処では1品ずつ手のこんだ彩り豊かな和御膳を。人気の花鏡御膳2,640円は八寸、おつくり、料理4種、季節のご飯、吸い物、デザート付き。全国から厳選した蔵出し価格の吟酿酒と一緒に。

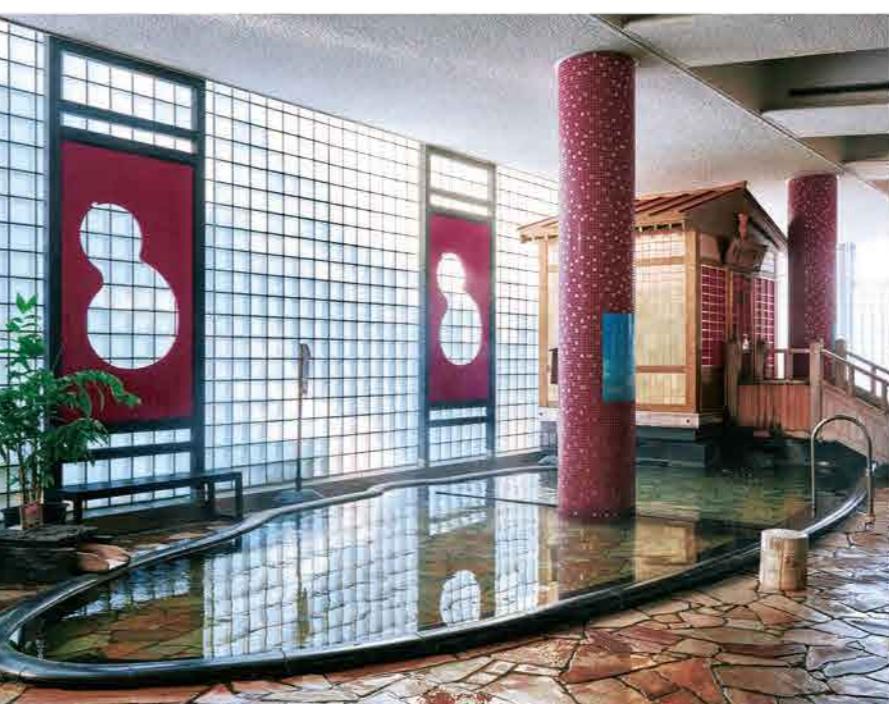


有馬の歴史ロマンといい湯を惜しみなく。

太閤の湯 たいこうのゆ

有馬温泉といえば金泉と銀泉の2種類のお湯。その両方の湯をぜいたくな源泉かけ流しで、露天風呂で、蒸し風呂や岩盤浴で、ここだけのブレンド湯でも楽しめる日帰り温泉テーマパーク。館内はかつて有馬の地へ湯治に通った太閤・豊臣秀吉にちなみ、桐の家紋や馬印のひょうたん、秀吉が好んだ金色の意匠があちこちに。26種類もある温浴施設で豪華絢爛な湯あみに興じて。

▶神戸市北区有馬町池の尻292-2 ☎078-904-2291 午前10時~午後10時(午後9時最終受付) 入浴料/大人2,750円、小学生1,239円、3~5歳440円(土・日曜、祝日は大人2,970円、小学生1,430円、3~5歳550円。年始・GW・お盆は特定日の料金に変更) 不定期休 ②200台



神戸の近場の湯へ
もつと気軽に

有馬温泉



ありま おんせん

神戸の近場の湯へ
もつと気軽に



温泉付き食事プランの昼食は午前11時30分～午後3時。ボタン鍋7,590円(写真は3人前)は前菜や自家製米の炊き込みご飯、デザート、畑の丹波黒枝豆などが付く。季節の会席6,325円は前菜、おつくり、鍋、焼き物など全11品でお値打ち!個室は有料(2名利用時2,000円)。



男湯は「赤鬼の湯」、女湯は「お福の湯」。いかにも効きそうな褐色のお湯は気持ちがいいと評判で長くほかほかが続く。露天は少し熱め、内風呂は温度の異なる浴槽が2つ。



名湯のぬくもりを堪能し
山椒香るボタン鍋の美味を。
国領温泉 助七
こくりょうおんせんすけしち
丹波市

昔から「山之神湯」と呼ばれる名湯で湯治場だった春日町国領。大正創業のこちらは唯一残る温泉宿。褐色の湯はラドンと鉄分を含む炭酸泉で冷え症や肌荒れ、神経痛に効くと京阪神からの常連も多い。もう1つの楽しみが三重の伊勢や京都で修業した4代目・近藤正幸さんが腕をふるう料理。日帰りプランは季節の会席料理などがあり、冬の名物はみそや山椒を合わせた秘伝のだしで味わうボタン鍋が評判。地元獵師がしめた猪肉や畑の野菜たっぷりで、唯一無二の味におなかも心も満たされる。

▷丹波市春日町国領206
☎0795-75-0010
日帰り入浴は正午～午後7時(午後6時最終受付)
入浴料／大人700円、小学生500円、3歳以上300円 不定期 ④40台

道案内／電車→JR福知山線黒井駅から神姫バス、進修小学校前下車徒歩約10分車→舞鶴若狭自動車道・北近畿自動車道春日ICから南へ約10分



山を借景にたたずむ静かな温泉宿。温泉付き食事プランは、冬は早めの予約を。近藤正幸さんと賀絵さん夫妻の温かなもてなしも心に残る。



カフェに、お土産に。
丹波の味覚がいっぱい!



宿場町・国領の
レトロな純喫茶へ。

純喫茶国領

丹波市で【市島製パン研究所】を営む三澤孝夫さんが開いた喫茶店。店に顔が見えるカウンターを設けたのは「人が集う、古き良き純喫茶の文化を伝えたい」との想いから。厚焼き玉子サンド700円、懐かしい名称のミーコー(ミルクコーヒー)600円。奥にはソファ席もある。

▷丹波市春日町国領1135
☎0795-71-1686
土曜の午後5時～午後9時、日曜の午前8時～午後5時のみ営業(モーニングは午前11時まで) ⑥6台・【国領温泉 助七】から北へ車で約3分



丹波焼の形をイ
メージした、丹心
バウムもち米黒
豆きな粉2,250
円。カフェも併設。



まず猪肉を煮てから野菜を。ブレンドしたみそと山椒の香り、爽やかな辛みの滋味深いだし
がおいしさの鍵。煮るほどにやわらかく旨み
が増す猪肉は、卵をぐらせてまろやかに。



メニューは赤花そば(ざるそば)、湯がいたそばを水に浸した水そばのみ。赤花そば1,100円。ゆで汁でなくそば粉を溶いたそば湯まで完璧なおいしさ。

立ち寄り

全国でも希少な在来種の十割そば。

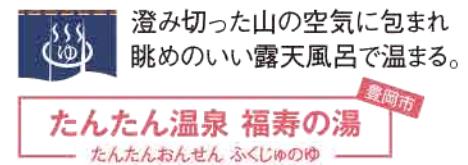
赤花そばの郷 あかはなそばのさと

但東町赤花地区で400年以上の歴史を持つ在来種の(赤花そば)。種の保全に努める地元農家が栽培、収穫、自社工場での製粉、週末に営業するそば処でのそば打ち、食事の提供までを一貫して手掛けている。そばはつなぎを使用しない十割で、舌触りがよく、かむほどに旨みと甘みがきわ立つ。

▷豊岡市但東町赤花159-1 ④0796-56-0081
土・日曜、祝日の午前10時～午後2時のみ営業(ラストオーダー) ⑤30分 [福寿の湯]から車で南へ約12分



道案内/電車→JR山陰本線八鹿駅・豊岡駅から全但バス、出石下車。
タクシーに乗り換える約30分 車→播但連絡道路・北近畿豊岡自動車道和田山ICから北へ約75分



澄み切った山の空気に包まれ眺めのいい露天風呂で温まる。
たんたん温泉 福寿の湯
たんたんおんせん ふくじゆのゆ

露天風呂から見える山の向こうの源泉から引くお湯は、肌に優しい重曹を含むラジウム温泉。新陳代謝を促して免疫力を高めるとされ、このお湯が気に入っている県内のみならず、隣の京都府から通うファンも多い。「体が芯からぬくもって血行がよくなるので、肩こりが治ったと喜ばれる人も」と支配人の佐古浩二さん。男女ともサウナがあり、汗をかいだ後、銘水(福寿の水)を使った水風呂に入ると最高だそう。湯上がり後は休憩室でのんびりと。周囲に何もない自然の中で、癒やしの時を。

▷豊岡市但東町坂野470 ④0796-56-1511
午後2時～午後9時(土・日曜、祝日は午前11時から。午後8時30分最終受付) 火曜休(祝日の場合営業) 入浴料/大人800円、5歳～中学生400円 ⑤30分



山あいに併設する日帰り温泉施設を2008年に開業。特産品コーナーでは地元でとれた旬野菜や新鮮卵などを販売。畳敷きの休憩室では[Café森のごはん。]の食事やサイフォンで淹れたコーヒーを楽しむことも。



Café森のごはん。

明石で[ピュアクリオカフェ]を営む小谷千枝子さんが、田舎暮らしに憧れて但東町の古民家に移住。「自然いっぱいの景色の中で過ごせる[たんたん温泉]が大好き。おいしいものを食べてゆっくりできる場」と5年前から館内で週末のみのカフェを開く。午前11時までは選べるモーニング500円を。昼の人気は[日替わり竹御膳]。「畠の野菜を主役に家で食べるような飽きのこない料理」と心を碎く。土曜限定のスペシャル定食1,500円も好評。土・日曜の午前9時～午後3時のみ営業。



写真上は露天風呂[高龍(こうりゅう)の湯]。冬はシンと澄み切った空気が心地よい。左下の内風呂[郷路(ごうろ)の湯]の浴槽は豊岡のシンボル、コウノトリがモチーフ。ガラス張りの窓から景色が広がる。



日替わり竹御膳1,000円。鶏団子と野菜の中華風甘酢炒め、山椒とコンニャクを炊いたもの、赤カブとユズの酢の物など。おやつは赤エンドウの豆大福、イチゴ大福など1つ150円。



秘湯で楽しむ美人の湯。
ご当地グルメも充実!

黒川温泉
くろかわおんせん

露天風呂と内風呂のみの小さな温泉。「兵庫の秘湯」と呼ばれるのは黒川渓谷に囲まれた標高500mの地にあることや、「美人の湯」で知られる泉質の良さから。隣の大明寺敷地から湧き出る温泉は炭酸水素イオンが豊富なアルカリ性単純温泉で肌がしっとりうるおう。雪が舞う冬の露天風呂も風情があり、景色を目当てに訪れる人も。併設の食事処はご当地グルメが充実。眼前にそびえる黒川ダムに発想を得た但馬牛入りのダムハヤシ、冬は秘伝のみそで煮込むミニボタン鍋定食を。

▶朝来市生野町黒川1457-1 ☎079-679-2067 日帰り入浴は午前11時～午後6時30分(5～10月の土・日曜、祝日と7・8月は午後7時まで。いずれも最終受付) 食事は午後3時まで(土・日曜、祝日は午後4時まで) 入浴料／大人800円、小学生400円、小学生未満100円 水曜休(祝日の場合営業) ②50台 道案内／電車→JR播但線生野駅から朝来市のデマンドバス利用(予約制)、黒川温泉下車 車→播但連絡道路生野ICから北東へ約30分



ミニボタン鍋定食
1,680円(3月下旬まで)。但馬の野山を駆け巡って脂を蓄えた猪肉、岩津ねぎなどの地元野菜を、みそと野菜や果物、ユズ、山椒などを合わせた特製だしで煮込む。



トマトの酸味と玉ネギ、黒毛和牛のコクが奏でるぜいたくな味。食堂で人気のダムハヤシを「家でも楽しめるように」とレトルトで販売。1個680円。シカがかわいいオリジナルのタオル300円。雪の季節はスタッレスティヤが必須。



道案内／電車→JR加古川線小野町駅下車徒歩約11分 車→山陽自動車道三木小野ICから南西へ約13分



応神天皇の時代、この土地が「箱の中にきれいな布を敷き詰めたように美しい土地」と評されたことにちなみ、カラフルな古代米を温泉前の田んぼで栽培して販売。



**小野アルプス麓にたたずむ
秘湯とともにそばを堪能。**

鍬渓温泉 きすみの郷
くわにおんせん きすみのさと

約400年の歴史がある鍬渓温泉。塩分を多く含む冷鉱泉で、湯が枯れることなく湧き出ことから「塩の井」とも呼ばれる。大正期には湯治場としてにぎわったが近年は衰退。地元住民や愛好家の復活を望む声を受け、小野市が「地域の憩いの場を目指して」、地元の人気そば店も併設した温浴施設を2018年にオープン。湯あたりがやわらかく、よく温まる温泉にゆったり浸かった後に、打ちたてのそばも楽しめるという組み合わせが最高。遠方からも訪れるファンも多い。

▶小野市下今宿659 ☎0794-88-8426
午前11時～午後8時(午後7時30分最終受付) 入浴料／大人800円、小学生400円 火・水曜休 ②20台



JR小野町駅に隣接する人気手打ちそば店「ぶらっときすみ」の二号店を併設。地元で栽培から手がけるそば粉を使用した本格手打ちそばはノド越しが良く、風味や香りが抜群。ざる十割1,100円。本店でも人気の巻き寿司やお弁当も販売。





大阪湾を一望する
絶景の天然温泉。

アクアイグニス淡路島

アクアイグニスあわじしま

淡路市

国営明石海峡公園内にある複合型天然温泉リゾート。内湯[伊弉諾湯]と露天風呂[伊弉冉の湯湯]ともに、地下1,000mから湧出する湯上がりの肌の潤いを長く保つ効果があるとされるナトリウム塩化物温泉が楽しめる。レストランやベーカリーカフェ、レンタサイクルショップも併設で、島旅の拠点にピッタリ。

▷ 淡路市夢舞台2-28 ☎ 0799-73-6602

午前8時～午後10時(午後9時30分最終受付) 入浴料/伊弉冉の湯湯+伊弉諾の湯3,000円、伊弉諾の湯1,000円(土・日曜、祝日1,200円)。いずれも4歳～小学生は半額) 2月の第2週～金曜休 (P180台 道案内/電車→JR神戸線舞子駅から高速バス、鷦鷯下車徒歩約8分 車→神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから南へ約5分

[SUSHI贈(ぞう)]

☎ 0799-73-6595 完全予約制 水曜休(12～3月は火・木曜も休)



海・山の湯で
癒やしの時

ライトアップされた夜も幻想的。入浴付きの食事プランもある(8名以上で要予約)。サウナも併設(午前9時～午後10時)。



水着着用の[伊弉冉の湯湯]は、湯船につかると温泉の水面と海面が溶け込むインフィニティ温泉(リニューアルのため3/19までは休止)。

おつくりや八寸、天ぶらなどが付く(さわやか弁当)(8名以上で要予約)。食堂では定食メニューも豊富に用意。



笹の葉の揺れる音と
竹林の景色でリラックス。

香寺荘

こうでらそう

姫路市



香寺町は『播磨國風土記』にも登場する静かな山間の里。「美人の湯」と称される高濃度炭酸温泉が自慢の宿で、気軽に日帰り入浴ができる。美しい竹林に囲まれた露天風呂は、炭酸をたっぷり含みブチブチはじけるような湯が気持ちいい! 入浴後は心のこもった地産地消の食事とアットホームなもてなしで、のんびりと。

▷ 姫路市香寺町恒屋1470 ☎ 079-232-7788

日帰り入浴は午前9時～午後9時(午後8時最終受付) 食事は午前11時～午後2時(午後1時30分ラストオーダー) 入浴料/大人700円、小・中学生400円、60歳以上600円 不定期 (P70台 道案内/電車→JR播但線満口駅からタクシー約5分 車→中国自動車道夢前スマートICから南東へ約5分